

第29回(1997年度)サントリー音楽賞は  
東京交響楽団に決定

毎年わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績をあげた日本人に贈る「サントリー音楽賞」の第29回(1997年度)受賞者は、東京交響楽団に決定した。

1. 1998年1月15日(成人の日)午前10時より東京丸の内の東京會館において、選考委員12名の出席により第一次選考を行い、「候補者」を選定した。
2. 引き続き3月18日(水)午前10時より、東京紀尾井町のザ・フォーラムにおいて選考委員12名の出席により最終選考会を開催、慎重な審議の結果、第29回(1997年度)サントリー音楽賞受賞者に東京交響楽団が選定された。そして、同日午後開催の理事会において正式に決定された。賞金は700万円。
3. 東京交響楽団の選考理由は別紙のとおり。
4. 選考委員は下記の12氏。  
礒山 雅・岩井宏之・小石忠男・白石美雪・武田明倫・中河原理  
丹羽正明・藤田由之・船山 隆・松本勝男・三宅幸夫・三善 晃  
(敬称略・50音順)

以 上

## 東京交響楽団

### <贈賞理由>

東京交響楽団は終戦直後の1946年4月に「東宝交響楽団」として設立され、近衛秀麿、上田仁、マンフレット・グルリットを指揮者に迎え日本人作品、海外作品の初演に積極的に取り組んできた。1951年「東京交響楽団」と改称、齋藤秀雄、森正を指揮者陣に加え、さらに充実した活動を展開、その中には武満徹の名作《弦楽のためのレクイエム》（1957年）の委嘱初演も含まれる。1964年、秋山和慶（1974年第6回「鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）」受賞）が音楽監督・常任指揮者に就任し、以降30数年に渡って一貫して一体となった活動を展開している。創立30周年を迎えた1976年にはカナダ、アメリカ、メキシコに初の海外公演を行い成功を取めた。1988年からは株式会社すかいらーくによる援助を得（1992年「メセナ大賞」）、1991年には大友直人が正指揮者に就任、また1994年から97年には西村朗をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、着実に交響楽団としての個性と実力を蓄積し、大きな成果を挙げ、1996年からは文化庁の芸術創造特別支援事業「アーツプラン21」の数少ない対象団体の1つに選定されている。

1997年には、秋山和慶指揮による第440回定期「魂の叫び……抽象表現主義時代のシェーンベルク」（9月20日、サントリーホール）で秋山によるシェーンベルクの大曲・難曲への一連の挑戦（1990年《グレの歌》、95年《モーゼとアロン》）の一環として《地には平和》（東響コーラス）、ヴァイオリン協奏曲（ソロ・渡辺玲子）とともにオラトリオ《ヤコブの梯子》を日本初演し、第443回定期（12月4日、サントリーホール、同6日、特別演奏会）では同じく秋山の指揮によりチェコからソリスト6人を招聘したヤナーチェクのオペラ《利口な女狐の物語》（共演・東響コーラス他）の原語による日本初演を行った。また第441回定期（10月25日、サントリーホール）では大友直人の指揮で1996年の《光の雅歌》に次いでコンポーザー・イン・レジデンスである西村朗の《蓮華化粧（れんげけしょう）》の委嘱初演を行ない、いずれも絶大の成果を取めた。また、本財団主催の「サマー・フェスティバル1997」の<20世紀の音楽名曲展>における秋山指揮のメシアンの大曲《トゥーランガリーラ交響曲》（8月27日、サントリーホール、ソロ・木村かをり、原田節）も聴衆の絶賛を浴びる名演であった。こうしたとくに「定期」における意欲的な作品への取り組みは、本賞の趣旨である「年度賞としての顕著な活動」を十全に体現するものである。

## <略歴>

1946年東宝交響楽団の名で創立、1951年東京交響楽団と改称する。

1964年以来秋山和慶が音楽監督・常任指揮者をつとめる。また1991年に大友直人が正指揮者に、1994年から飯森範親が指揮者に就任。また客演指揮者に小林研一郎を擁する。

1976年アメリカ、カナダ、メキシコ、1982年韓国、1986年中国において公演を行なうほか、1991年ヨーロッパとアメリカにおいて、「英国ジャパン・フェスティバル」、「国連デー・コンサート」などの公式行事参加を伴うワールド・コンサートツアーを実施して成功をおさめた。

現代作品への意欲的な取り組みと長年の業績が認められ、1990年音楽之友社賞、1993年京都音楽賞大賞を受賞する。また、1994年秋山和慶の音楽監督就任30周年と第400回定期演奏会を記念して上演したシェーンベルク歌劇「モーゼとアロン」(邦人による日本初演)で絶賛を博し、その成果に対し1994年度毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞を受賞した。さらに1996年楽団創立50周年を記念してヨーロッパ公演を行なう。同年モービル音楽賞を受賞。

なお、1996年より文化庁が日本の音楽界を牽引していると認めた団体を支援することを目的として設定した「アーツプラン21」に、最初の団体として選ばれており、活発な活動を続けている。

以 上